

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 1月 日

事業所名 すだちクラブ 6名

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			・一階と二階で活動を分けて使用しています。 ・収納棚の配置を工夫し狭い室内でも活動スペースを確保しています。	・今よりスペースを増やすためには、物の配置の工夫が必要だと思います。
	2	職員の配置数は適切である	6			・送迎の時間帯や個別活動の際に一時的に不足することがあるが、ミーティング等で担当職員を采配を振ることで体制を整えることができています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		・特に階段では、低学年や配慮が必要な児童に付き添いや見守りを強化しています。 ・バリアフリー化されていない場所は転倒、転落がないよう大人が見守りをしています。	・建物の構造上、完全バリアフリー化は難しいが、必要な箇所はできる対策をしていきたいです。 ・階段で滑らないよう滑り止めマットを敷いているが更に転落防止に繋がるような工夫をしていきたいです。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			・日々のコミュニケーションやミーティング、連絡会議事録を掲示し、職員間で意見を出し合っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			・評価表だけでなく、家族会の内容や集金方法等、アンケートにより保護者の意見を確認しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			・IZUMO自立支援センターのホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	2		・必要であれば行います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			・外部講師を招き、障害特性の理解を深めたり、対応方法を学び、職員一人ひとりの質を向上させています。	・外部研修や専門性の高い研修に参加し、支援の質を上げていきたいです。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・アセスメント以外に日々の記録の仕方を整備し、客観的に分析できるようにしています。 ・日ごろから保護者とコミュニケーションを取り、ニーズや課題を確認し合っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			・弊所にあったアセスメントツールを活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		・所内研修の際に、色々と意見を出し合い活動プログラムの変化を求めることを努力しています。 ・担当職員に任せ、立案したものをミーティングで確認しています。	・担当職員に負担がかかり過ぎないように配慮します。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			・子どもたちにとって、楽しい企画はどんなものが良いのか考えて策定しています。 ・子供たちが飽きないように月毎、日毎で活動を変えています。	・みんなで楽しめるような活動や身体を使って発散できるような活動を増やしていきたいです。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			・放課後は個人のスキル向上を目指し、長期休業時は集団で外出した際のルールやマナーを学べる機会を増やすようにしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			・個別療育が必要な子は個別の時間を確保し必要な療育を行っています。 ・子供たちに合わせた視覚支援ツールを活用しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・ミーティングを行っています。 ・非常勤職員へ会議録を掲示し確認できるようにしています。 ・役割の変更等ある場合は、都度口頭で伝達しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			・その日の出来事や気になったことは、その日のうちに職員間で共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			・記録の取り方を統一しています。 ・支援目標を作成する際に振り返ったり課題を分析しやすいようにしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			・半年以内に一回、誕生月の支援会議の後、サービス等利用計画書に合わせて見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1	1	・個々の特性に合わせて行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			・送迎の際に積極的に担任や介助者の方と会話をして子供たちの様子を共有するようにしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				6	・職員の確保が難しいことや設備が整っていないことから、受け入れを検討できません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	1	・サービス利用開始前に、保育所や児童発達支援事業所と支援会議を行い、得た情報を支援の参考にしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	3	・小学校を卒業し別の事業所を利用される子は、移行支援会議を行い、情報提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			・年二、三回専門機関の方を招き、研修を行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	1		・機会があれば活動したいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1	1	・ささえる専門部会(児童WG)に参加しています。	

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の記録を公開しています。 ・子どもの様子や保護者の様子で気になることがあれば、適時伝えるようにしています。 	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に家族会を開催し、保護者支援を行っています。 	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に支援の内容等、視覚提示しながら保護者に伝わるように説明を行っています。 	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者と面談し、日ごろの悩みや様子を確認するようにしています。 	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者会を開催しており、保護者同士の関わりも増えてきています。 	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが納得いかないことはその場で話し合っています。 ・保護者から苦情がないように定期的に面談し、様子を共有しています。 	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・月一回、すだちだよりを発行しています。 	
	35	個人情報に十分注意している	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・他機関や他事業所と情報共有する際は、事前に保護者の同意を得ています。 	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・口頭だけでなく、視覚支援を交えながら伝えるようにしています。 ・伝えたい内容を紙に記入して伝える場合もあります。 	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている					<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば検討します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・適時、マニュアルを閲覧することができるようにしています。保護者の方へ事業運営マニュアルを配布しています。 	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・年二回、全員参加で避難訓練を行っています。 ・年一回、消火訓練を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の際、先頭の支援者が目印になるようなものを掲げ、スムーズに避難できるような工夫を検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・年二回、虐待防止研修を行っています。 ・事例をもとに適切な対応がとれるよう支援を統一するようにしています。 	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・所内研修で身体拘束についての意見を出し合い、理解を深めています。 ・契約時に保護者へ説明をし、安全面が気になる子どもは随時、説明するようにしています。 	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示が必要な子はいませんが、保護者からの要望や指示書があれば対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・共有することで、安全面の意識の向上を図っています。 	